

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

No.29

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 <https://rid2650-pub.com/katsuyama/> Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3067回 例会 (2月18日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎

今年も左義長まつりが今週末の22日と23日に開催されます。
今回の寒波が過ぎると一気に春めくものと思います。
さて、本日の例会はオンラインにてボーズマンサンライズRCの方々が参加されます。アビーさんのスピーチがありますので皆さん楽しみにしてください。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○例会終了後、理事役員会を開催しますのでよろしくお願いします。

●出席報告

多田 慶一郎

2月18日 欠席3名 85.71%
2月4日 欠席4名 80.95%

●ニコニコ報告

山内 政司

アビーさん親子に再会して
届出欠席

幅田浩二
幅田浩司

織田青少年奉仕委員長から例会プログラム開始の説明の後、ボーズマンサンライズRCアビーさんのスピーチを聞きました。



今回も驚田智恵氏にご協力いただきました。

ボーズマンサンライズRCのクラブ紹介

1992年設立、100人以上のアクティブメンバー、数名の名誉会員

主要なプロジェクトとして

○グレン・レイク・ロータリーパーク/維持管理

○ブック・ギブアウェイ（本のプレゼント）

○フィックス・アップ・フェスティバル（住宅の修繕）

○地域のフードバンクでの支援活動

○インターアクトクラブとの協力

○子どもたちへの支援物資の収集

国際プロジェクトとして、ネパール・カトマンズのRCと協力し、カトマンズ周辺の6つの農村部の学校にITテクノロジー（パソコン）とeラーニングを導入、何度もネパールを訪れ、学校を視察し、生徒と交流しています。

勝山市を訪問した際は、本当に素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。ぜひ次回は家族を連れて皆さんに会いに行きたいと思っています。

また、皆さんもぜひボーズマンに来てください！

本日 プログラム	会員卓話 笠松誠一会員	3月4日 プログラム	会員卓話 和田達也会員	3月11日 プログラム	ゲスト卓話 永田泰山氏	3月18日 プログラム	ゲスト卓話 永田泰山氏
-------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

会員卓話

私と左義長まつり

滝川 博則 会員



今日は左義長まつりについてお話をしたいと思います。

小学生の頃は特に何もなく普通にまつりに行くだけでした。

下袋田地区の子どもたちはテレビ中継がある華やかな櫓に上がって羨ましかったです。

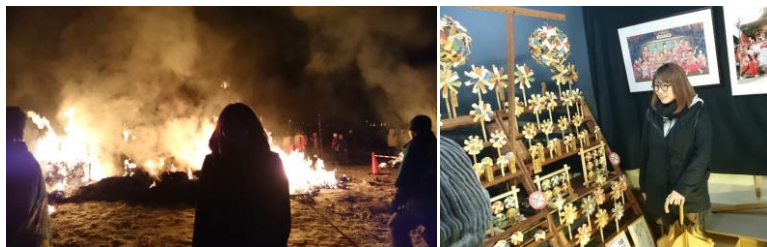
今は自由に櫓に上がる雰囲気があるし、博報堂賞を受賞した西の子まつりなどずいぶん環境が変わったなと感じています。

私が左義長まつりと深く関わったのはJ C時代です。

1996年から2007年まで毎年御神体を組み立て、竹串に刺した炎餅を売り、「いっぷく亭」なる休憩所をきりもりしたりしてまつりに関わっている充実感がありました。

2008年頃から鈴蘭の女将の「左義長の時に座敷空いてて寂しいわ～昔は皆宴会してたけど～」の声をきっかけに、取引先の保険会社社員や代理店仲間を左義長に呼び櫓巡りや宴会をして楽しい時を過ごすのが通例になっています。

2015年には引退発表した天龍源一郎さんの愛娘、嶋田あやなさんが来て引退ツアーの願かけをしてくれました。



2019年までは毎年誰かを呼んではまつり巡りをしていました。

2005年に左義長まつり保存会が愛知万博に出演することになり、応援団として同行しました。

時の保存会長から依頼を受け、辻会員の義息さん、辻貴弘君を巻き込み募集したところ、大型バス2台にもなりました。

そこで全国県人会祭りなるイベントに参加をしたのですが、最初ほとんど人がいなかったにもかかわらず、左義長囃子の音色が始まると、あれよあれよという間に人だかりができました。

あの集まり方は凄かったです。左義長囃子の音色の魅力に大変興味を持つ事になりました。

ポーズマンサンライズRCの方々も勝山に来られて初めて聞いたのに盛り上がっていましたから、この曲の魅力を探求してみたいな、という気持ちがちょっとあります。

私は勝山城友の会という会に入っておりまして、入会のきっかけは天龍さん絡みです。

入会后2か月で文化部長をお引き受けすることとなり、約10年この役をやっております。

その文化部の行事として、勝山城にある櫓での企画をし、友の会会員のみならず、一般の方々にもご参加いただきました。

左義長ばやし保存会の榎家会長と私の二人で語る左義長ばやし左義長まつりトークと、年間30公演の年内最終おとりで勝山城博物館櫓で演奏していただき本番さながらの盛り上がりでした。



滝：勝山城友の会文化部長 滝川博則氏 榎：勝山左義長ばやし保存会 会長 榎家淳一郎氏

滝：勝山左義長ばやし保存会の榎家淳一郎さんに、今日は「勝山左義長ばやし」の魅力などお話をお聞かせしたいと思います。

まず、榎さんのプロフィールをご紹介します。勝山左義長ばやし保存会会長・左義長祭の副委員長・勝山市文化協会の副会長をされています。20年前の2004年にこの保存会に入会され、2005年に愛知万博に出演されました。

今年は30公演行い、今日の勝山城博物館での演奏が本年の大トリとなります。

保存会では、2006年に事務局長・2010年に副会長・2019年に会長になりました。榎さんは設計士さんなので、2009年に沢区櫓の設計・2024年に上郡区櫓の改修設計をされ、保存会という立場もありながら、櫓も保存されている方です。

榎：勝山左義長ばやし保存会に入って20年になりますが、この櫓で何回かやらせてもらっているのですが、毎回、この勝山城博物館さんのスペースにぴったりと収まっていることにいつも感じます。

保存会は昭和25年(1950年)に設立し今日は櫓の下にある(通常は櫓の上)にあり、お客様が体験できる)古い太鼓も保存会の歴史を感じるものです。県内各地にいろいろな文化の保存会がありますがその中でもうちは74年間の歴史があり、福井県内でも一番古いぐらいの保存会になるのではないかと思います。

滝：資料によると、会員さんと芸者さんで、立ち上げた。

榎：左義長ばやしは、櫓の上に芸者さんが上がって、披露するもので、「うちの櫓は芸者さんが〇人あがるんやー。」と櫓どうしで競い合っていたそうです。主に下後地区の男性と芸者さんで結成したと聞いて。



最後に。。。

今週末は左義長です。大雪が大変ですがこの山を超えたら左義長です。勝山に春到来となります。

気持ちも浮いてきますね。

今年私のご案内するゲストは、去年のプロレス興行の際に勝山で活躍してくれた大日本プロレスの神谷選手と登坂社長です。3人でプロレス興行の実行委員会メンバーが上がる櫓中心にまつり巡りです。

下袋田、芳野、立川の櫓に彼らが現れるかなと思っています。

左義長大使の椎名誠さんが椎名誠賞として、ある行燈を評価されました。

その歌にあるように左義長は踊る方も観る方も皆んな主役です。

当日は皆さんまつりを楽しみましょう!!!

